

令和5年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和5年10月12日(木) 15:00～15:30

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市西部市民センター

4 出席者

(1) 選定評価委員会

委員長 白戸高史(企画部次長)

副委員長 工藤拓実(総務部次長)

委員 松本大吾(青森大学准教授)

委員 西村晴夫(東北税理士会青森支部税理士)

委員 木村久美子(市民部次長兼行政情報センター所長)

委員 中村敦(農林水産部次長)

委員 石村淳(浪岡振興部次長)

(2) 施設所管課(中央市民センター)

館長 奥崎和彦

主幹 工藤伸彰

主幹 肥後奈緒子

主査 田中浩司

施設所管課(子育て支援課)

主幹 澤拓生

主査 加藤典和

(3) 制度所管課(財政課)

副参事 岩淵寿哉

主幹 宮崎恭次

主査 櫻田博光

主査 滝口貴史

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 青森市西部市民センター管理運営協議会
- ・住所 青森市大字新城字平岡163番地22
- ・代表者 会長 関 良

(2) 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「効率性について」を除いた得点（74.44点）が最低基準点（66点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

【職員等の研修計画】

委員：西部市民センターの職員の対応に関して、中央市民センターに苦情が来ることはあるか。

施設所管課：時々ある。

委員：職員の接遇の向上に関しては、どのように取り組んでいるのか。

施設所管課：人事課が実施している市職員を対象とした接遇研修に、受講者数に空きがある場合は受講させてもらい、接遇の向上に努めている。

委員：プールで溺れて亡くなられた人はいるか。

施設所管課：そのような事例はこれまで無い。プールの監視員には、日本赤十字社が開催する救助に関する講習などを受講して、対処方法を学んだ方が従事している。

委員：プールの監視員は水泳経験者か。

施設所管課：必ずしも水泳経験者ではないが、基本的に泳ぐことができる人を雇用していると聞いている。また、人命救助となれば、泳ぐことができるだけでなく、溺れた人を引き上げるだけの力や体の使い方などを講習で学んだ人でなければ務まらないため、このことについて徹底して教育していると聞いている。

【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

委員：利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響はあったか。

応募団体：貸館を制限した時期があったことや、新城まつりなどの大きなイベントが3年間中止になったことなどで、利用者数はかなり少なくなったが、今年度からは通常の体制に戻っている。

委員：プールの利用者数についても、同様に影響はあったか。

応募団体：新城小学校と新城中央小学校の2校が行っている水泳教室の利用が無くなるなど影響はあったが、今は通常の体制で行っている。

委員：西部市民センターの事業で水泳教室を行う際に、受講料は貰ってないのか。

施設所管課：受講料は貰っている。